

令和 5 年度 (2023) 共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：CRC 宇宙線将来計画研究会 英文：CRC workshop for future plans in cosmic ray research	
研究代表者 田島宏康 参加研究者 伊藤好孝、神田展行、常定芳基、荻尾彰一、さこ隆志、森正樹、日比野欣也 ほか CRC 会員および関連分野研究者	
研究成果概要 CRC は 2011 年度から 2023 年度まで 12 年間で 22 回のタウンミーティングを開催しており、宇宙線研究計画の議論を重ねてきた。こういった議論をもとに学術会議から 3 年ごとに提言として提出されるマスタープランや文科省のロードマップに対応してきた。学術会議は新たに 10 年スケールの長期的な「未来の学術構想」を立ち上げ、100 億円以上の大型計画について議論を行い、184 個の計画をリストアップした。CRC はタウンミーティングの議論をもとにカムランド 2、Ice-Cube-Gen2、B-DESIGO、KAGRA、CTA、Hyper-K を最優先すべき長期計画として推薦している。 さらに 2023 年 5 月に文科省ロードマップの公募が発表された。数 10 億～2000 億円の計画を公募しており、CRC から Ice-Cube-Gen2、CTA、Kamland2 に対してサポートレターを提出している。 こういった中、これまでの議論をいったんまとめた CRC ロードマップを作製することと、これまで議論されてこなかった計画を含めて宇宙線研究計画を議論するために 2024 年 3 月 28 日に東大柏キャンパスで CRC タウンミーティングを行った。 https://indico.icrr.u-tokyo.ac.jp/event/1000/ 4 年ぶりの対面によるミーティングとして実施したが、オンラインでも参加できるようにして活発な議論が行われた。 この議論をもとに CRC ロードマップの作製が CRC 将来計画検討小委員会により行われている。	
整理番号	K01